

ひなたよ、一つ  
提案があるのだがなあ……。

賭けをしようじゃないか!?  
お前にとっても  
悪い話じゃない

わしが勝てばこの家に  
もう一晩泊めてもらう。  
お主が勝てばすぐに帰るとしよう。  
どうじゃ!?

お前のここには名残惜しいが、  
わしも愛する家族の邪魔をするのも  
心が痛んでなあ

制作中







スー

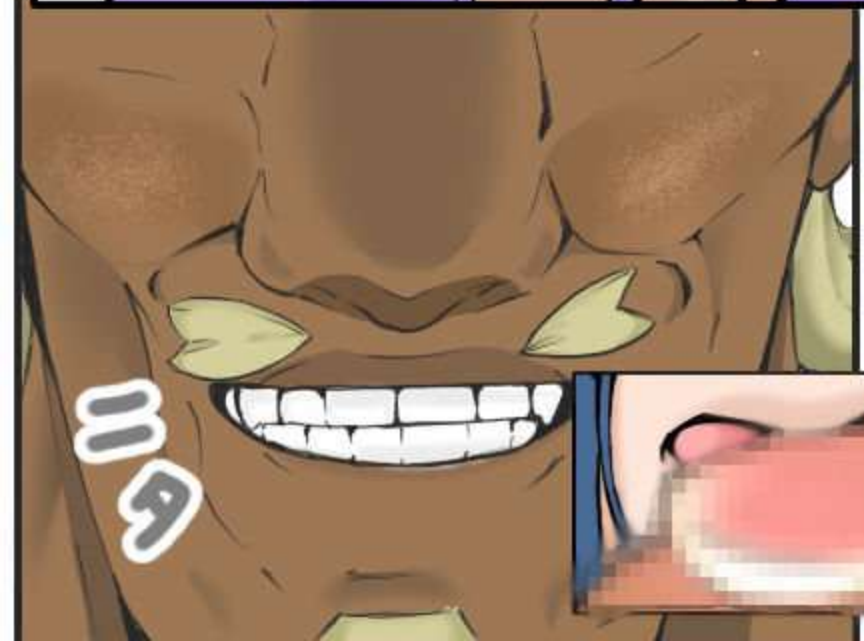




















クハハハ

ジグザグ

ズン





半年前











ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク  
ガク  
ガク  
ガク  
ガク

ガク  
ガク  
ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク









カチ

カチ...



カチ

カチ

カチ...カチ...



カチ...

カチ...

カチ...



カチ

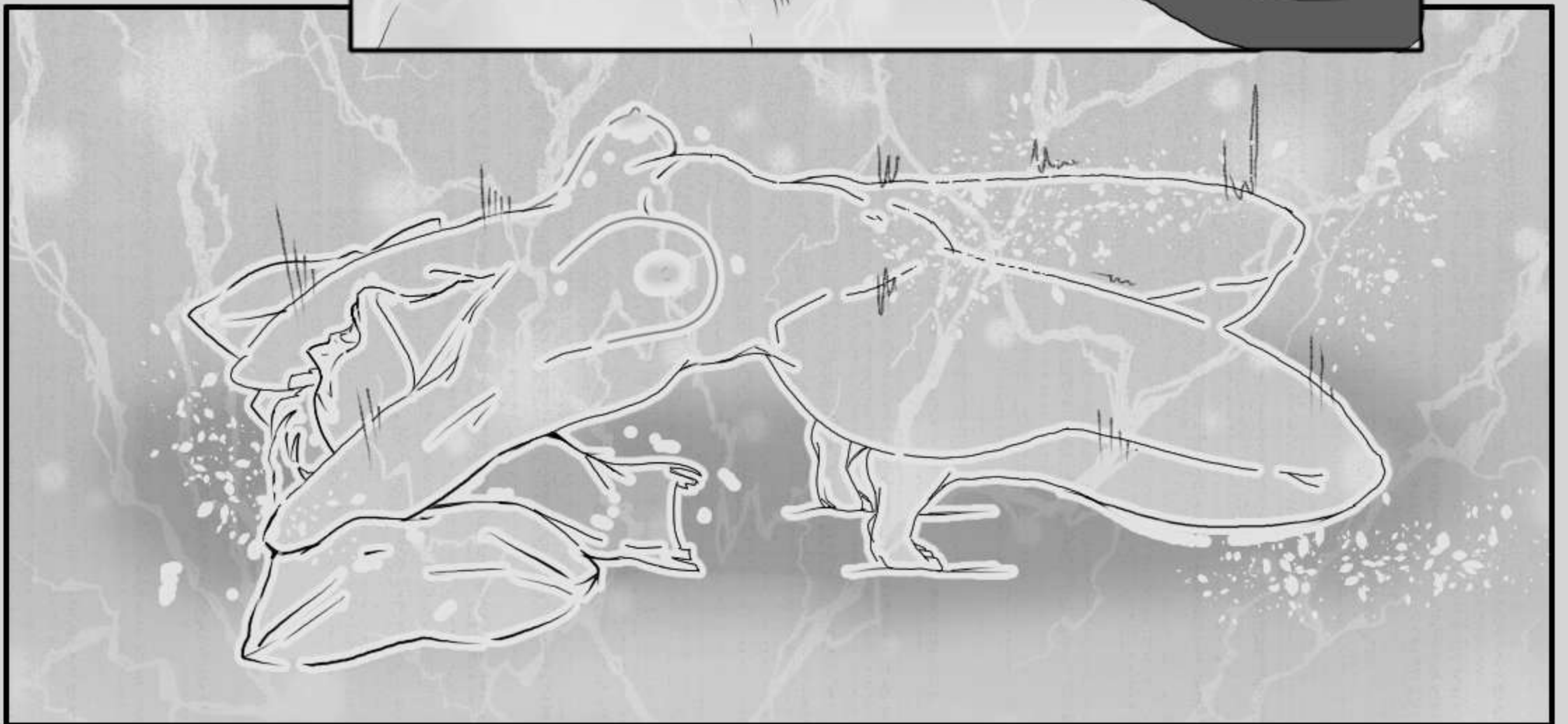
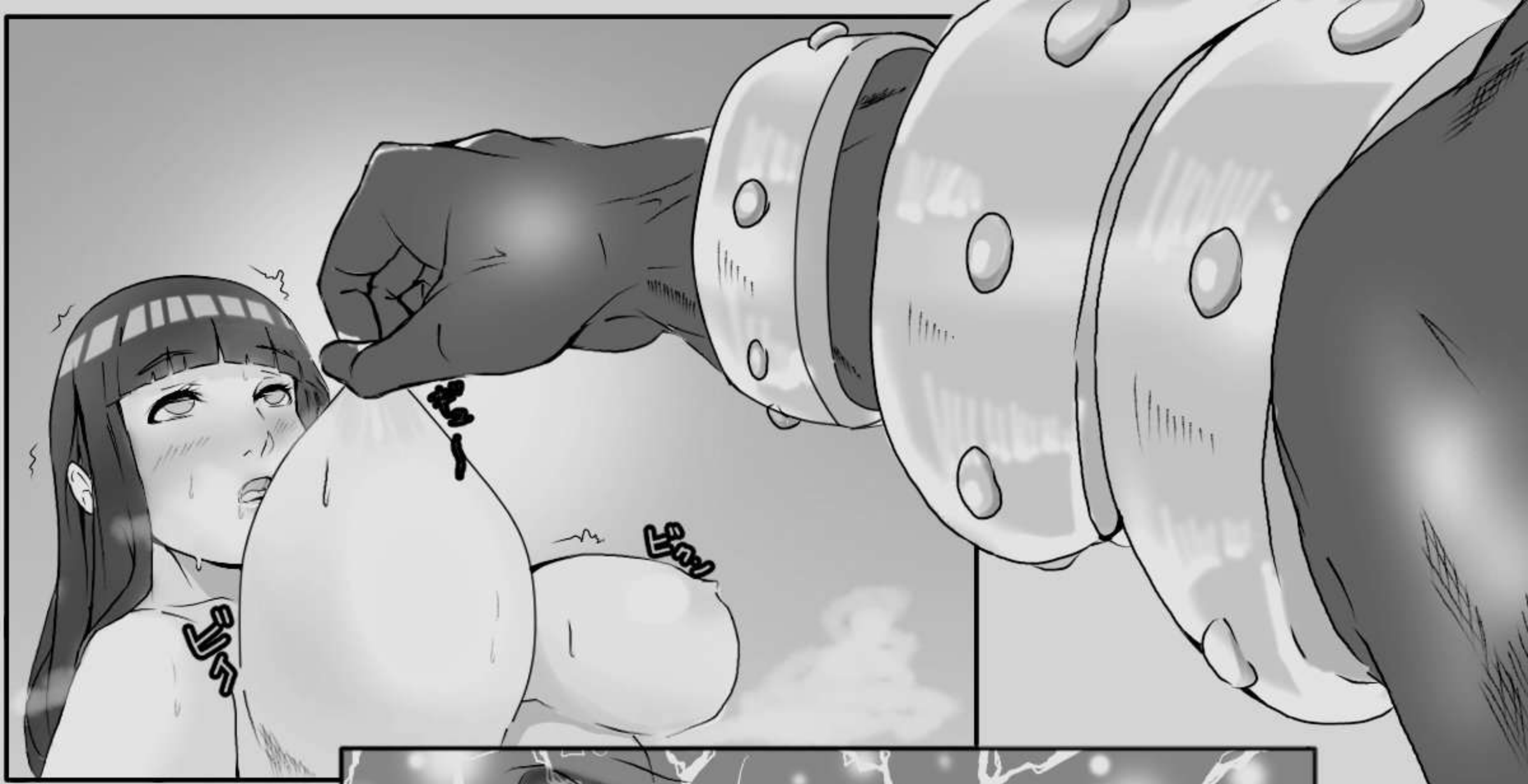
カチ



# 訪問者















ザッ  
ザッ























わしの女に  
なるんじや

わしの女に…

この身体に  
たっぷり  
教え込んでやろう





またイクな  
これで4回目か!?  
儂のモノが  
気に入ったか?







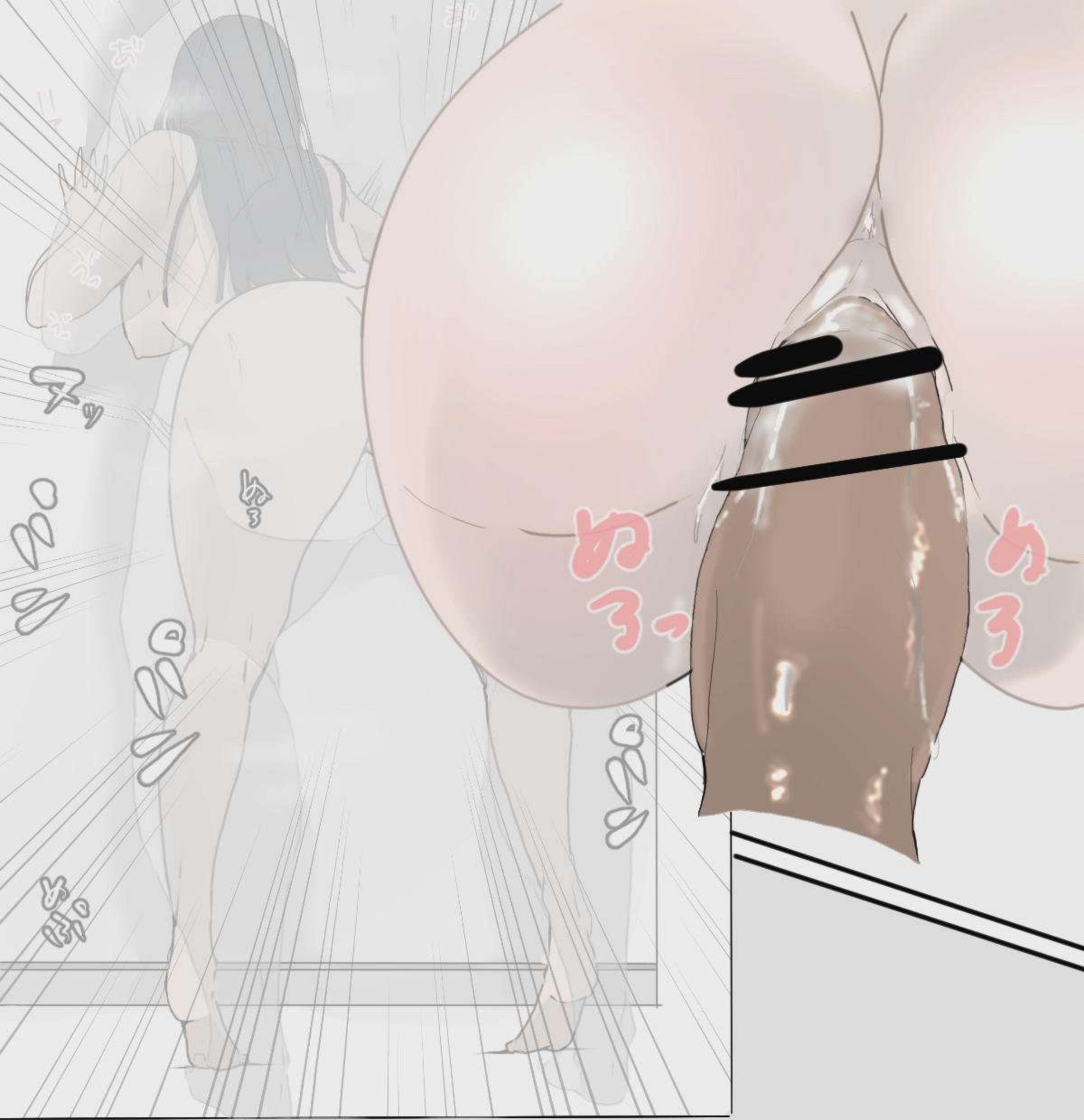
















明日からが  
楽しみだ...

めろ

めろ

は

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん











いっつらっしやい……

ナルトくん……

家の事は心配せんでええぞナルト。  
俺がしっかりと面倒をみておくからな！

わっはっは！













ワシを受け入れるも、入れぬも

お前次第!!

この里の平和もお前次第だ

どのみち、昨夜の事は消えぬこと...

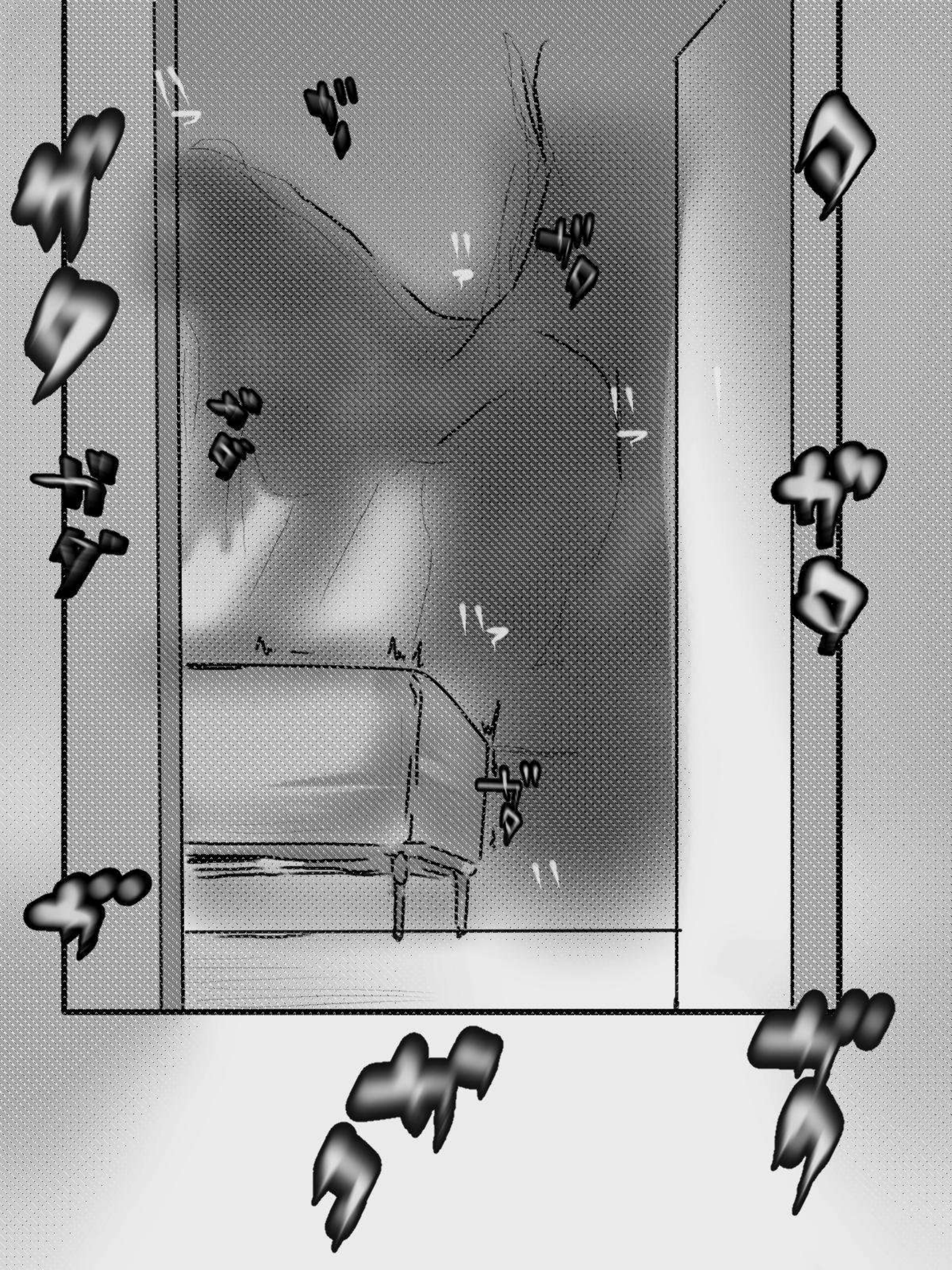
これも火影の妻の務めの内、

ナルトのためじゃ...!!

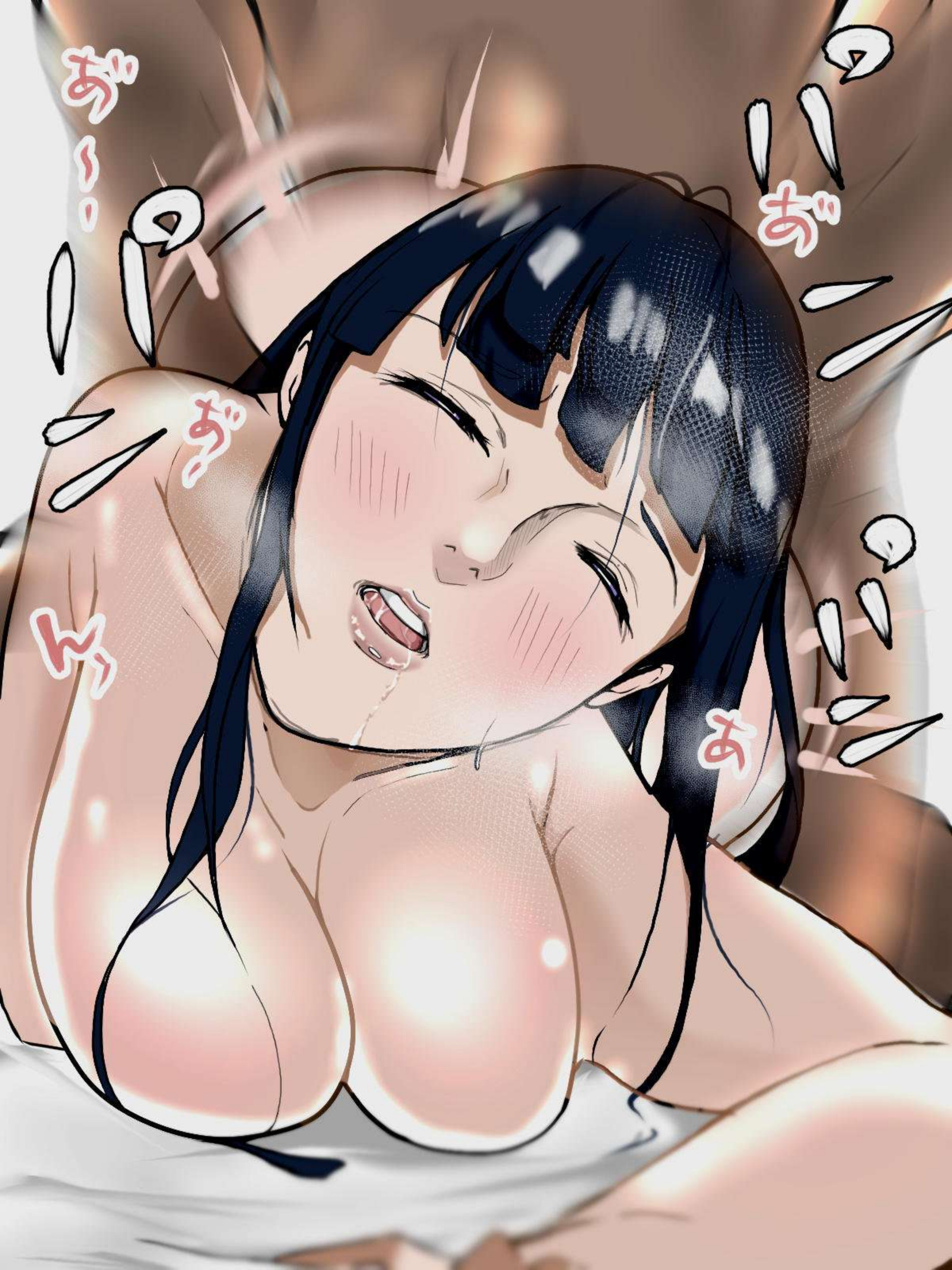
ナルトのな...



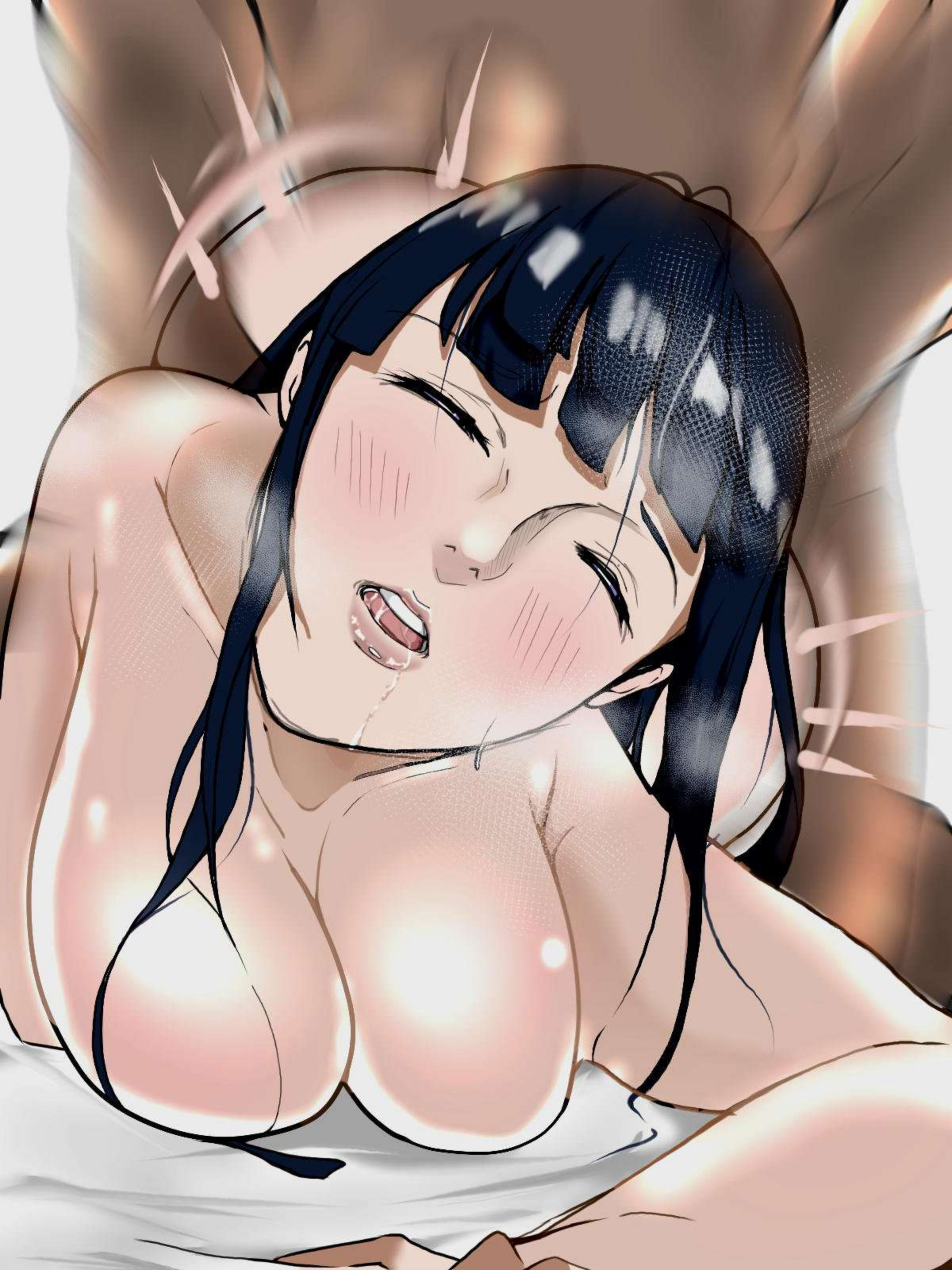
























やっと2人  
になれた：  
のうヒナタ？

おまえも  
ワシのが忘れられんぞ...

お前の中に入りた  
ワシのモノが  
暴れおるぞ!!

見ろ！

...

フ  
フ





この肉体で  
火影を慰めていたか

これからはフシも  
慰めてもらおうかのお  
ヒナタ!?



卑猥な蜜が  
溢れてきおる



ガガガ

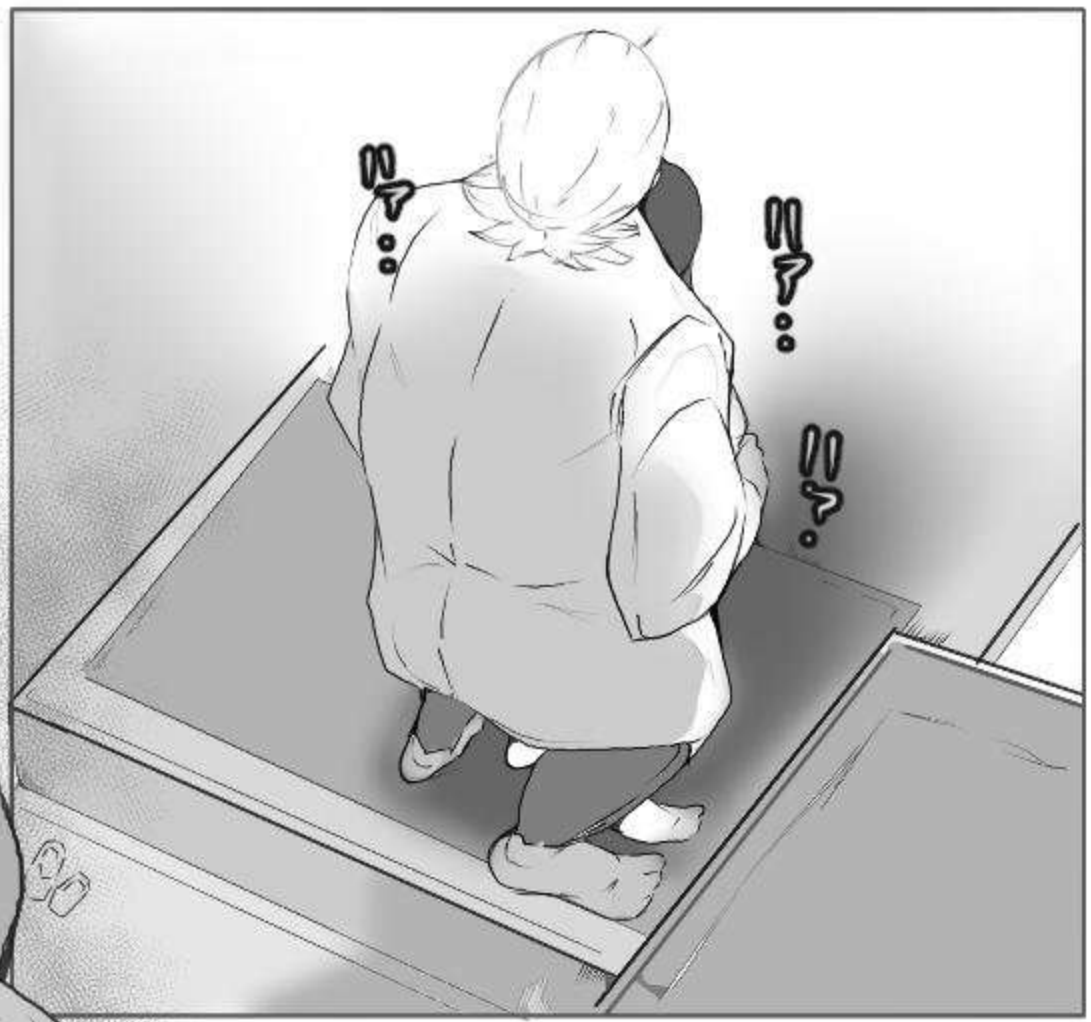




まったく、  
2人の子の母親だというのに

はしたない  
人妻だ





ほれヒナタ

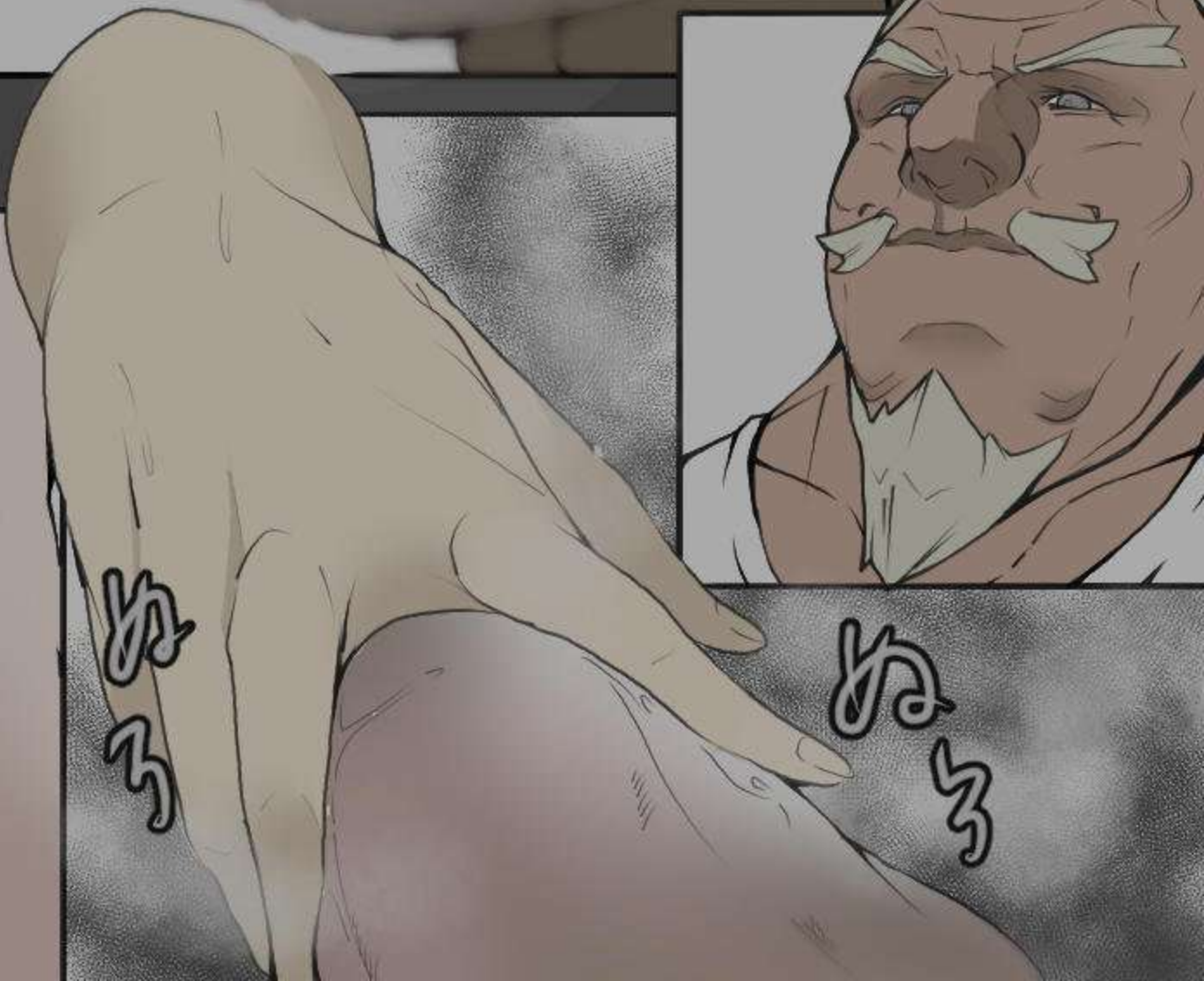
自分ばかり  
気をヤツていないで  
ワシのものも奉仕せんか



昨日も、今日これからも  
お前に女としての  
悦びを与えてくれる  
イチモツじや

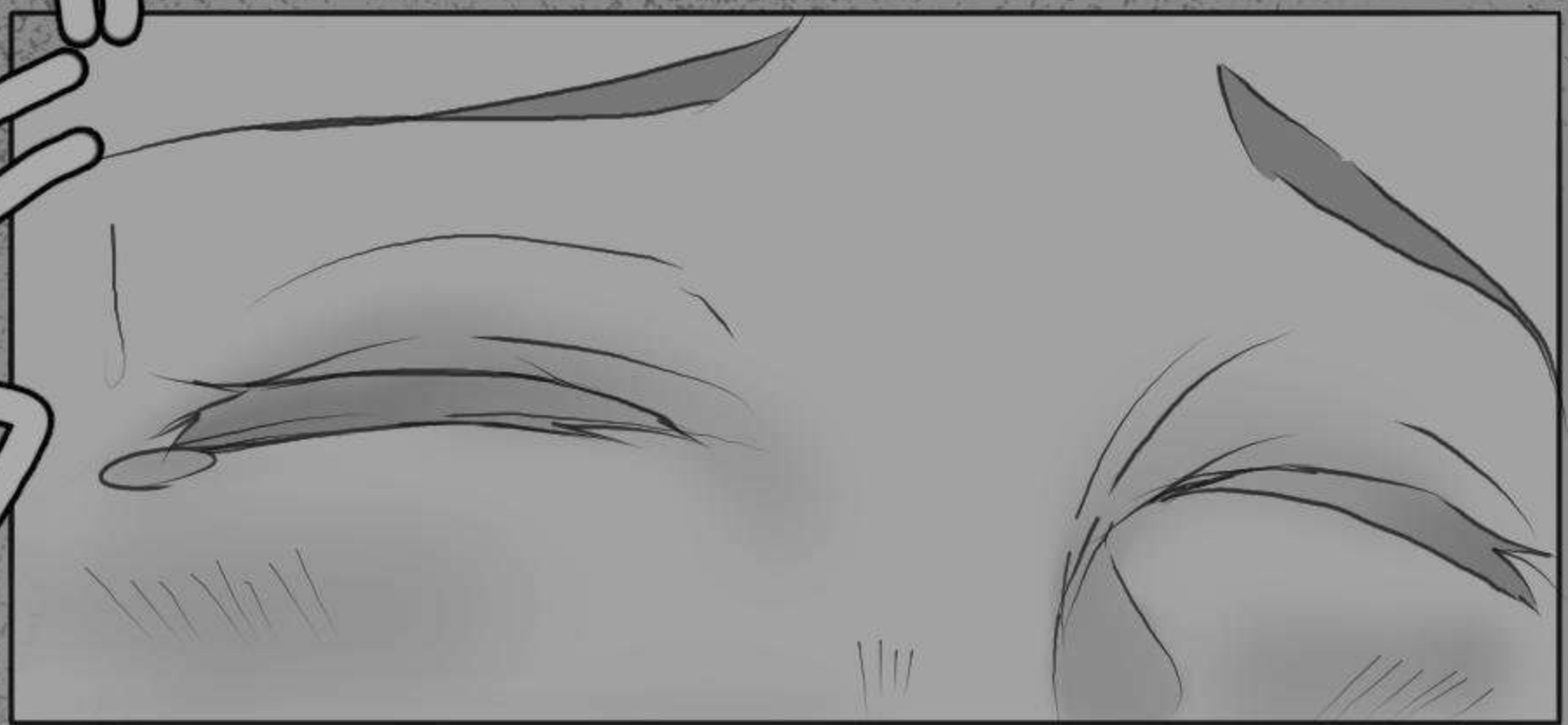


ほれ、  
次はお前の番だ





ド  
ク



ナルト  
旦那の  
ためだぞ。。



どうだヒナタ

ゆっ

ゆっ

ぱん

きゅん

きゅん

ちゅ♡

く  
あ  
あ







自分の口が

どうだ？

ヒナタよ。

まるで。

雄に媚びる

オマシヨ

のようだらう

しゅん

しゅん

ん



ああ、待ちきれん  
抱えてくっついてやるわー！

お前も

ワシのモノが  
忘れられまい

こんなに  
乳首を固く  
しおって…

寝室に  
案内しなさい

ほら  
ヒナタ！











フッ

フッ

フッ

あ

あ

あ

あ

あぁ

ナルトくん

あ

ナルトくん...

助けて...

あぁ

あ

あ

あ

カタ

カタ

カタ

カタ































ひなたの

どうしたヒナタ!?  
声が漏れるのが  
恥ずかしいか?

のうヒナタ?

可愛い  
声を:

か

うわ

う

う

う

う

う

う











次はナルトさんのお宅か。ヒナタさんいるかな？

「お届けのものですー！」

「……」 「……」 「……」

ガチャ

「……はい。あ……い」 めんなさい遅れちゃって……」

ズン……キン

「あ……お「届」物です」



「い」 めんなさいね」 んな格好で」

ん「あ」の後ろの方は？」

「え……？ナルト君が変化してるだけだから……」



荷物を素早く受け取るとヒナタさんは慌てた様子でドアを閉めてしまった。



「ごめんなさい。…誰にも言わないで。」  
ドアが閉まる隙間からそうか細い声が聞こえた。

「これじゃ仕事にならないな…。」

俺は窮屈そうにパンパンに怒張したものを意識して誰も来ない場所を探した。あの光景を思い出しながら



そうだ…

喉まで使ってなあ

じゅわん

にゅにゅ

訪問料

ぶちぶち

ふふふ

ふふふ

上手くなった  
のう…

ヒナタ

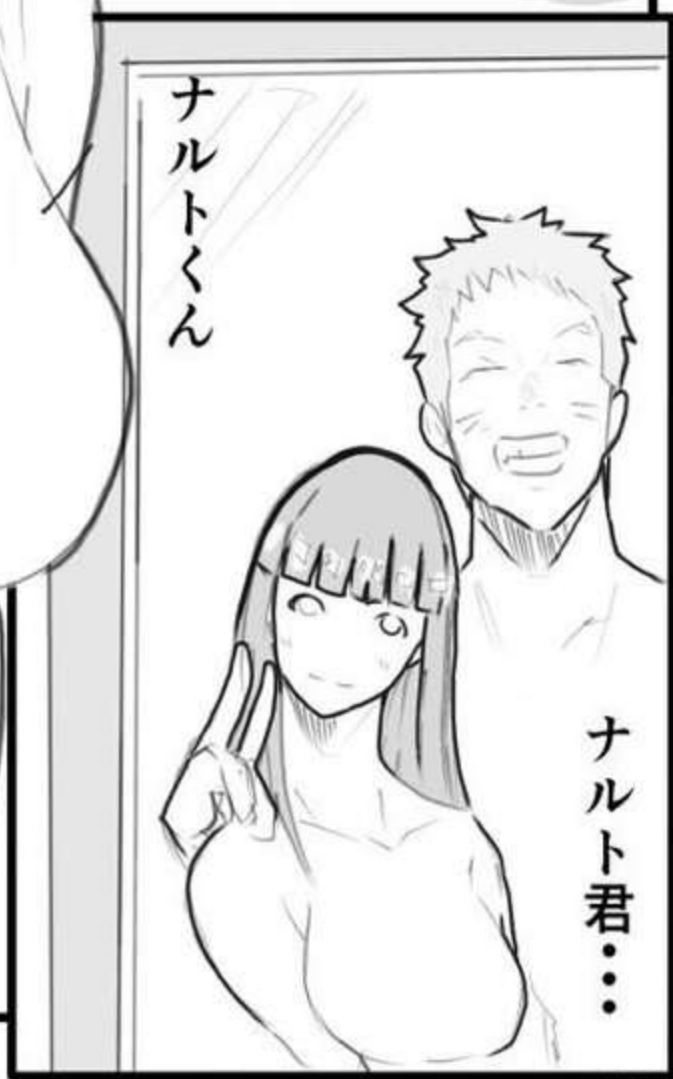
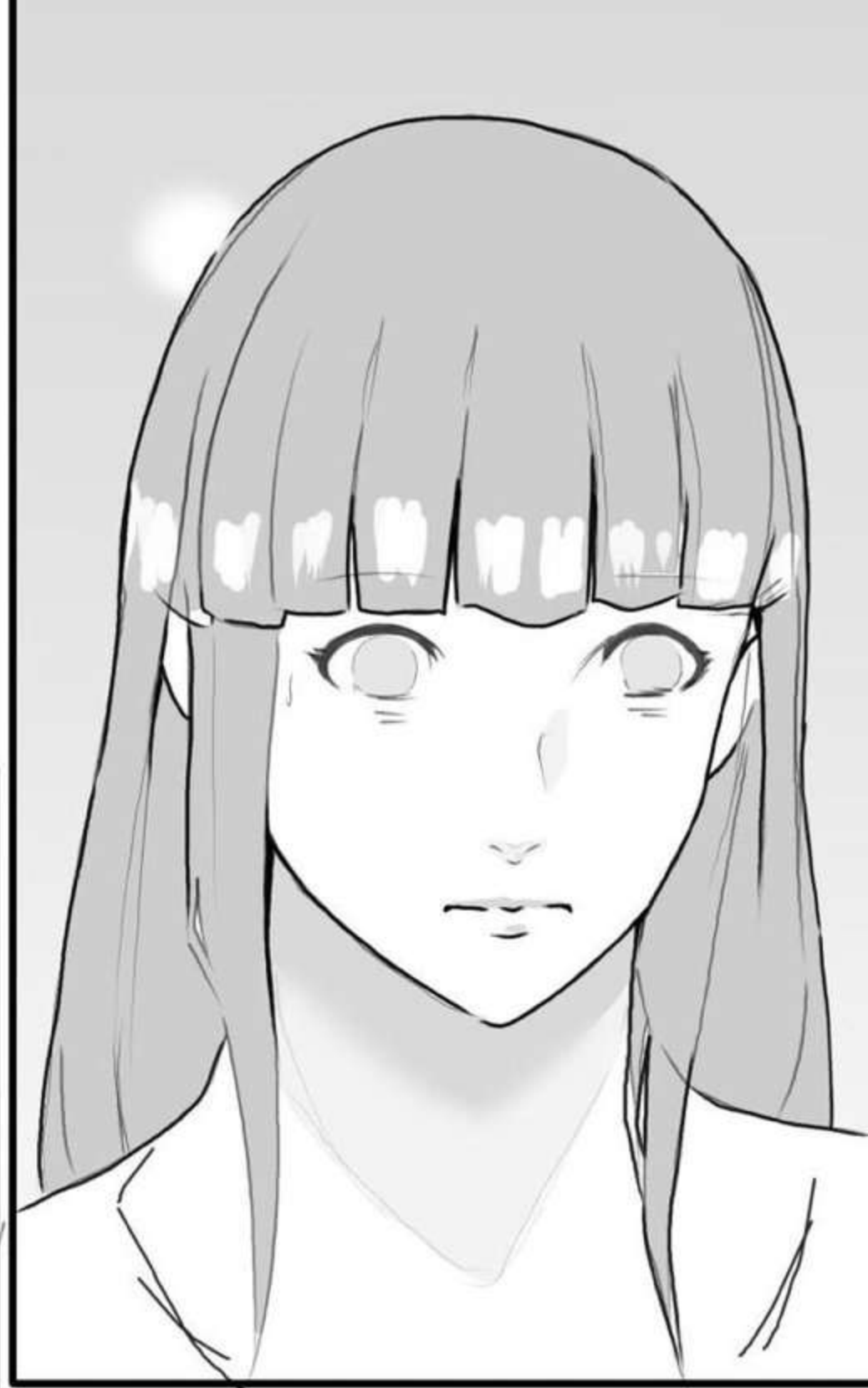
あの日を  
思い出すわい





思い出すのさ...





ナルトくん

ナルト君……



成立だな。

わかり

ました。

●  
●  
●  
●  
●  
○



では早速  
はじめようか！

!!

カッ

カッ







しかしのう：ワシも歳かのう  
なかなか立たなくてな  
口でおねがいでできるかな？

こんな魅力的な  
おなごがいるのにのう

ア...





ひなたよ、一つ  
提案があるのだがなあ……。

賭けをしようじゃないか!?  
お前にとっても  
悪い話じゃない

わしが勝てばこの家に  
もう一晩泊めてもらう。  
お主が勝てばすぐに帰るとしよう。  
どうじゃ!?

お前のここには名残惜しいが、  
わしも愛する家族の邪魔をするのも  
心が痛んでなあ



ワシをお前より先にイかせたら、  
すぐにでもこの家から出て行ってやる。

その前に1分間、口で気持ちよくしてもらおうか…。  
その胸も使ってなあ

そのほうが、お前にとっても  
都合がいいだろう！？

お前の頑張り次第では、口だけで  
済ませられるかもしれんしなあ







この乳がわすれられなくてのう  
これでナルトを惑わせたんだろう

このワシをも誘惑しおって





気をしっかり持つのよ。  
流されちゃだめ……

これで見納め  
かもしれないから  
堪能しておかんなあ

どうだヒナタ？感じてるか……  
ワシのお前の中に入りたがってのお  
お前のものもワシのを  
欲しがっているんじゃないか？ヒナタ



さあヒナタ  
その胸を使ってワシを  
気持ちよくさせるんだ

1分だ  
それでワシをイかせたら  
お前は元の家族の生活に戻れるぞ

# 予告





さあヒナタ  
その胸を使ってワシを  
気持ちよくさせるんだ

1分だ  
それでワシをイかせたら  
お前は元の家族の生活に戻れるぞ

クッ  
ッ

お  
い  
や





さあヒナタ  
その胸を使ってワシを  
気持ちよくさせるんだ

1分だ  
それでワシをイかせたら  
お前は元の家族の生活に戻るぞ

一分間……。

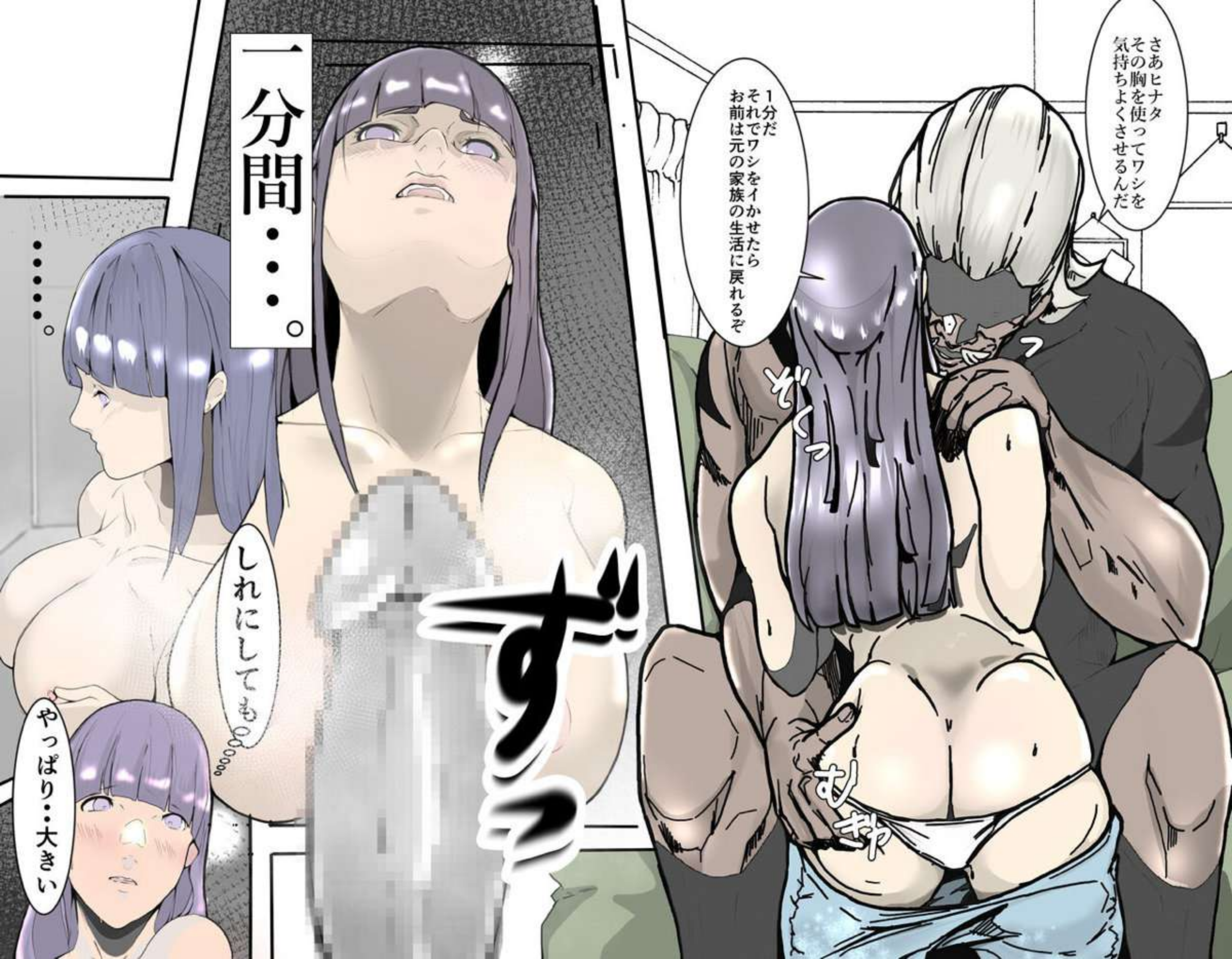
しれにしても

やっぱり・大きい

ずん

おっ

ぞくぞく





ほれっ一分だ。  
1分その無駄に育った乳と口を使って  
ワシを楽しませろ。  
旦那と子供の為に頑張って奉仕するんだぞ。

おっ…きい…  
こんなものが私に昨日…







やだっ……んんん



ナルト君の……  
あの子たちの……為に



悪いおちんちん...



ク!

ズ

!!



お母さん

ナルト君は里のことを。

私は家を守るんだ。

お母さん



ナルト君と…ぜんぜん違う…

やだ…挟んでるのに…はみでちやう…





あぁ…すごく…  
凄いい重量感…  
頭が痺れてきちゃった…

は

は

は

は

は

は

は

は





はー

はよー

はよ

熱い

これでまたヤラしちゃうの???

胸でイかせて終わらせちゃうの???

ああ熱い:速くイって

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ





ああ、

はー

はー

はー

はー

はー

はー

おちんぼ

すっばい

ちゅ

ちゅ

ちゅ



ワシと一回交わって  
先にワシが果てたら、すぐにこの家を出ていこう。

しかし、お前が先に気をやればその時は  
もう一泊この家に泊めてもらおうとしよう。

ムムム

どうするひなた？



よう吸い付く  
いい肉壺じゃ

わっ  
わっ  
わっ

いいのお  
木の葉の女子は

あ

う

スケベに  
求愛しおつて

ここまで  
愛されるのは  
初めてだろう！

わ  
わ  
わ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

ここで  
イカされるとな  
もう戻れん……









あ

あ〜でたわ…でたわ！  
久々にな

ここまでイカされたのは  
初めてだろう！？  
なあ？ ヒナタ

ふふっ  
いき過ぎて痙攣してるわ  
その姿も卑猥だのう









ワシのものが先にイッたらお前の勝ち。  
お前のオマンコが先にイッたらワシの勝ち。



亭主がいる家で、他人のおちんぽにオマンコまで  
貸し出すのもこれで最後になるぞ

それでいいならワシに口づけをしろ。

嫌なら1週間はここにいて、ナルトや子供の居る家で  
飽きるまでお前を抱き続けるまで。

# 契約完了だな



ヒナタお前は頭で  
考えすぎる気があるな

あ

これからはここだ！  
ここで考える女に  
なるんだ！

母親から女へ…  
妻から牝へ…

んっ

ワシが作り変えてやる…  
忍びから…妻から…母親から  
優先すべきものを作り変えてやる

はっ

もうおぼえてしまった

快楽を

お前は忘れられないのだ

あ

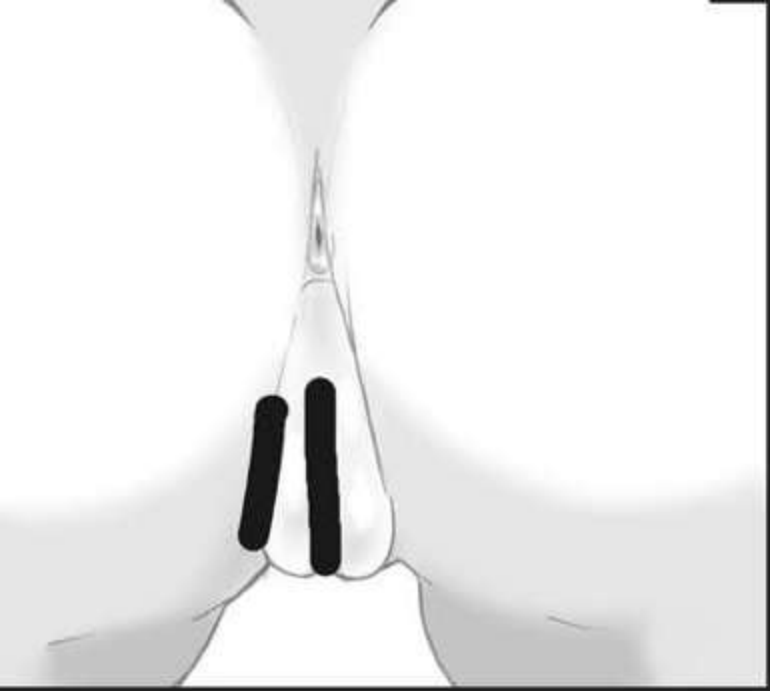
家族では得られない悦びよ！  
女としての悦びだ。

あ









「ふ〜  
絶景絶景」











ちんぽ

アキ

アキ

アキ

アキ





私の中で暴れまわった

私の家族の大事な空間で

カシ...

カシ

カシ

グッ

う

ズッ

カッ

カッ

カッ

カッ

ズッ

カッ

ズッ

アッ



ナルト君以外のひとで…  
私に入ってきた





# 次回







アキ

アキ

アキ

アキ





































